

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
<p>SMBC日興証券株式会社</p>	<p>1. 発行準備 ・対象プロジェクトの評価・選定、認証手続きなど、グリーンボンド発行手続きに関する一連の実務について説明・提案 ・発行に係るスケジュールの策定・提示 2. 発行計画の策定 ・充当事業の範囲、調達資金の管理、レポーティング方法等具体的な計画の策定のために、発行体及び外部レビュー機関、コンサルティング機関とのディスカッション 3. 発行事前準備 ・グリーンボンドに適合しているかを示す説明資料の作成支援 ・調達資金使途及びその資金管理についての各種開示案の作成支援 ・外部レビュー機関によるセカンドパーティオピニオン、内容の検証 ・目論見書等、発行時開示文書における開示案の作成支援 ・グリーンボンドに関するIR資料作成支援 4. 発行時サポート ・グリーン投資家を含めた投資家向けのデットIRアレンジ ・グリーンボンド組成に関する各種ドキュメンテーション作成及び支援 ・投資家マーケティングを含むグリーンボンドの引受販売 5. その他グリーンボンド等に係る情報提供業務 ・国内外のグリーン等ESG関連規制動向・市場動向についての情報提供 ・グリーン・ESG投資家動向の調査とその情報提供 ・グリーンボンド原則/ソーシャルボンド原則等に関する直近の議論、グリーン事業の適合性に関する動向についての情報提供</p>	<p>【東京都:東京グリーンボンド】 (2017年10月発行、5年債、発行額50億円) ・地方自治体初となるグリーンボンドの発行 ・共同主幹事として参加</p> <p>【三井住友フィナンシャルグループ:ユーロ建グリーンボンド】 (2017年10月発行、7年債、発行額5億ユーロ) ・TLACのグリーンボンドとしては世界初 ・共同主幹事として参加</p> <p>【日本リテールファンド投資法人:グリーンボンド】 (2018年5月発行、5年債、発行額80億円) ・Jリートで初となるグリーンボンド ・共同主幹事として参加</p> <p>【国際協力機構:ソーシャルボンド】(2016年9月以降、10年債/20年債/30年債、発行額累計1,000億円) ・国内発行体初となるソーシャルボンドを発行しており、計5回7銘柄の起債を重ねている(2018年6月12日現在) ・内4銘柄について事務主幹事/共同主幹事として参加</p>	<p>http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S1.pdf</p>	<p>SMBC日興証券株式会社は、グリーンボンド、ソーシャルボンド等の社会貢献型債券の取り扱いを通じて環境・社会配慮型企業へ投資する機会を設け、国内外の環境・社会配慮型企業の活動を早くから支援してまいりました。グリーンボンド発行促進プラットフォームへの登録を契機に、従来からの知見・経験も踏まえ、グリーンボンド国内市場のさらなる発展に向けて、貢献してまいります。</p>	<p>部署名 第一デット・キャピタル・マーケット部 第三デット・キャピタル・マーケット部</p> <p>電話番号 03-3283-5388</p> <p>E-Mail: gb_nikko@smbcnikko.co.jp</p> <p>HPアドレス https://www.smbcnikko.co.jp/index.html</p>
<p>ゴールドマン・サックス証券株式会社</p>	<p>ゴールドマン・サックスは、環境分野における目標として、今後2022年までに世界中のクリーンエネルギーに400億ドルの投融資を行うことを2012年に発表し、わずか4年でその目標を達成しました。2015年には新たな目標として、2025年までに1,500億ドルをクリーンエネルギーに投融資することを公表し、低炭素社会実現に向けてのコミットメントを明確にしてきております。2017年時点ですでに710億ドルの実績をあげており、目標達成に向け着実に前進しております。また持続可能で環境に配慮した経済の発展に寄与すべく、国内外のお客様のグリーンボンド発行を支援してまいりました。こうした卓越したグリーンボンド引受実績を活かし、グリーンボンド・フレームワーク設定に関する外部評価機関の選定、外部評価機関との議論、セカンドオピニオン等の外部評価取得に至るまで、発行準備に関するすべての段階において発行体を全面的に支援するほか、グリーンボンドの発行に際しましては、発行計画策定のサポート、各種ドキュメント作成のサポート、IR等の投資家へのマーケティング活動、発行水準の摺合せ等、起債に関わる実務を全て支援いたします。投資家への販売に際しましては、全世界の投資家と築き上げた強固な関係を活かしながら、いずれの通貨におきましても、グリーンボンドの需要を最大限に喚起することに尽力しております。</p>	<p>【グリーンプロジェクトボンド】 発行時期:2018年3月 名称:ギガソーラー グリーンプロジェクトボンド信託(福島) 発行額:55億円 弊社役割:単独アレンジャー</p> <p>発行時期:2018年3月 名称:JAGメガソーラーグリーンプロジェクトボンド信託7 発行額:75億円 弊社役割:単独アレンジャー</p> <p>発行時期:2017年10月 名称:カナディアン・ソーラーデュアルテナーグリーンプロジェクトボンド信託(鳥取) 発行額:74億円 弊社役割:単独アレンジャー</p> <p>【サステナビリティボンド】 発行時期:2016年10月 発行体:日本政策投資銀行 発行額:5億米ドル 弊社役割:共同主幹事</p> <p>発行時期:2015年10月 発行体:日本政策投資銀行 発行額:3億ユーロ 弊社役割:共同主幹事</p>	<p>http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S8.pdf</p>	<p>ゴールドマン・サックスはグリーンボンド原則を支持し、世界中でグリーンボンド等のストラクチャリング及び引受を積極的に行っています。2025年までに1,500億ドルをクリーンエネルギーに投融資することを目標に、低炭素社会の実現に寄与したいと考えております。日本においても、再生可能エネルギー事業の資金調達に画期的な手法を導入した「グリーンプロジェクトボンド」を初めてアレンジし、グリーンボンドの普及に貢献しています。</p>	<p>部署名 投資銀行部門 資本市場本部 資本市場部/公共法人・インフラ・ユーティリティ部/インフラストラクチャー・ストラクチャードファイナンス部</p> <p>電話番号 03-6437-9258/03-6437-7401/03-6437-7594</p> <p>E-Mail gs-greenbond@gs.com</p> <p>HPアドレス https://www.goldmansachs.com/japan</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
シティグループ証券株式会社	<p>1. グリーンボンドフレームワーク設定準備支援 ・当社のグローバルな専門部隊であるグリーンボンドチームとの協同により、グリーンボンドフレームワークの設定準備を支援</p> <p>2. 資金使途の選定支援 ・資金使途の対象となりうるグリーンプロジェクトを、当社ESRM(環境、社会リスクマネジメント)チームとの協同により、選定を支援</p> <p>3. 外部レビュー機関の選定支援 ・外部レビュー機関によるセカンドオピニオン取得を支援。グリーンプロジェクトに対する環境団体の視点や考え方、投資家の視点やマーケティングの観点を踏まえ、プロセス完了を支援</p> <p>4. 投資家向けロードショー支援 ・グリーンボンド投資に積極的な投資家に向けたロードショー(投資家面談や投資家向け集合ミーティング)をアレンジ ・投資家向けロードショー資料の作成についても、環境団体の視点や考え方、投資家の視点やマーケティングの観点を踏まえ、当該グリーンプロジェクトの透明性、及び強みをハイライトなどした資料作成を支援</p> <p>5. 債券発行後の年次レポート作成支援 ・発行後のレポートにつき、外部レビュー機関やグリーンボンドコンサルタントも交え、資金使途に応じた適切な内容、および継続的なレポートが提供できるような体制づくりを支援</p> <p>6. 債券発行前後のフォローアップ ・グリーンボンドへの投資に積極的な投資家が集う、グリーンボンドカンファレンス等のアレンジを通じた投資家との継続対話に向けたフォローアップ支援</p>	<p>発行体: 日本政策投資銀行 債券種類: 米ドル建てサステナビリティボンド 発行時期: 2017年10月 弊社関与: 共同主幹事及び決済担当、ストラクチャリングの支援</p> <p>発行体: 国際協力機構 債券種類: 円建てソーシャルボンド 発行時期: 2017年6月 弊社関与: 共同主幹事</p> <p>発行体: 三菱UFJフィナンシャル・グループ 債券種類: 米ドル建てTLAC適格グリーンボンド 発行時期: 2017年6月 弊社関与: 共同主幹事</p>	http://greenbondplatform.env.go.jp/pdf/registration-list/S11.pdf	<p>シティグループ証券は、マーケット&セキュリティーズ・サービス、インベストメント・バンキング、キャピタル・マーケット・オリジネーションなどの分野において、幅広い金融商品とサービスを、企業、機関投資家、政府・行政機関などのお客様に提供しています。親会社シティの200年を超える歴史と世界160カ国のグローバル・ネットワークを生かした革新的なソリューションで、お客様の多様なニーズにお応えしています。</p>	<p>部署名 デット・キャピタル・マーケット部</p> <p>電話番号 03-6776-3800</p> <p>E-Mail: esg@citi.com</p> <p>HPアドレス http://www.citigroup.jp/jp/index.html</p>
大和証券株式会社	<p>弊社は、下記のグリーンボンド発行支援業務を通じ、グリーンボンドの発行支援を推進いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - グリーンボンド発行に向けた情報提供 - グリーンボンドのストラクチャリングに係るアドバイス - セカンドオピニオンプロバイダーや格付会社といった関係機関との折衝支援 - 金融商品取引法に沿った適切な開示支援 - IR資料等、販売促進資料作成支援 - 想定される投資家とのIRミーティング設定等のマーケティング活動 - 投資家へのグリーンボンドの啓蒙と販売 - 発行後支援(レポートに係るアドバイス等) <p>弊社は、2008年に国内市場で史上初となるワクチン債を本邦個人投資家向けに販売して以降、個人投資家/機関投資家向け、公募/私募と多岐に渡るプロダクトでストラクチャリングを行なった実績を有しております。また、「グリーンボンドガイドライン 2017年版」において日系証券で唯一検討会委員を務めた他、ICMA(国際資本市場協会)が事務局を務める「Green Bond Principles」・「Social Bond Principles」においても、日系証券会社で唯一ワーキンググループのメンバーとして活動する(2018年6月現在)等、国内のみならず、海外のグリーンボンド市場にも精通しております。係る豊富な経験と知識に基づいた適切なアドバイスを積極的に提供し、グリーンボンド市場の発展に貢献してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防接種のための国際金融ファシリティ(IFFIm) 2008年3月4日条件決定南アフリカ建て2年ワクチン債1.7bnZAR:本邦史上初となるSRI債を本邦個人投資家向けに弊社単独でアレンジ ● 日本政策投資銀行(DBJ)2014年9月30日条件決定ユーロ建て3年グリーンボンド€250mn:本邦発行体として初となる公募債のグリーンボンドにて国内証券会社として唯一主幹事を務めた ● 国際協力機構(JICA)2016年9月2日条件決定円建て10年200億円/30年150億円ソーシャルボンド:本邦発行体として初となるソーシャルボンドにて主幹事を務めた ● 韓進インターナショナル2017年9月25日条件決定米ドル建て3年グリーンボンド\$300mn:発行体として初となるグリーンボンドにて国内証券会社として唯一主幹事を務めた ● 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRJT)2017年11月17日条件決定円建て10年グリーンボンド200億円:財投機関としてまた環境省のモデル事業として初となるグリーンボンドにて主幹事を務めた 	http://greenbondplatform.env.go.jp/pdf/registration-list/S3.pdf	<p>大和証券は全国の本支店、インターネット、コンタクトセンターをはじめとした国内拠点網と、グローバルネットワークを通じて、個人のお客様には幅広い金融商品を、法人のお客様にはブローカレッジやM&Aアドバイザー、投資銀行業務といった最先端の金融サービスを提供しています。</p> <p>大和証券グループは、ビジネスを通じて社会的課題の解決に積極的に取り組み、経済的価値と社会的価値を同時に創造することを目指します。</p>	<p>部署名:デットキャピタルマーケット部</p> <p>電話番号:03-5555-3910</p> <p>E-Mail:ESG_DCM@daiwa.co.jp</p> <p>HPアドレス:http://www.daiwa.jp/</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
東海東京証券株式会社	<p>通常の債券発行支援業務に加え、下記発行支援業務を通じて、グリーンボンドの発行支援を推進するとともに、グリーンボンド市場の発展に貢献して参ります。</p> <p>I. グリーンボンド発行に向けた情報提供および事務手続き支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボンドとしての適格性を具備するためのストラクチャリング支援(アドバイズ) ・グリーンボンド発行に向けた情報提供、スケジュール管理、各種開示資料等の作成支援およびアドバイズ ・外部レビュー機関、格付機関、コンサルティング機関等の紹介および折衝サポート ・情報ベンダー(Bloomberg、Thomson Deal Watch、Reuters、キャピタル・アイ、金融ファクシミリ新聞、日経Quick、時事通信等)を通じた、グリーンボンド発行に向けたタイムリーな情報発信 ・目論見書等、発行時開示資料の金融商品取引法に沿った適切な開示支援 ・グリーンボンドの引受および販売(投資家マーケティングを含む) ・デットIRコンサルティング・・・グリーンボンドに関するIR資料の作成支援等 ・グリーンボンド発行に向けた投資家へのデットIR・・・中央投資家や地方投資家を含め、幅広い投資家向けにデットIRをアレンジ ・その他グリーンボンド等に係る情報提供 <p>II. グリーンボンドに関する啓蒙活動</p> <p>III. グリーンボンドを活用した地域活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発途上国の貧困削減および開発の支援を目的とした、教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために、世界銀行が国際資本市場で発行したサステナブル・ディベロップメント・ボンド(国内個人向け債) ・途上国における再生可能エネルギー、エネルギー効率化およびその他の気候変動対策プロジェクトを対象とした融資のみに使われる、国際金融公社が国内の個人投資家を対象に発行したグリーンボンド 	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S12.pdf	<p>東海東京証券株式会社は、金融・資本市場の担い手として環境問題の重要性を認識し、限りある資源を有効に活用し、次世代へ残していくために、環境に配慮した企業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献して参ります。また、グループ倫理行動基準に基づいた事業活動を通じて社会貢献することにより、企業集団としての社会的責任を果たして参ります。</p>	<p>部署名 キャピタル・マーケット部</p> <p>電話番号 03-3517-8530</p> <p>E-mail Masanori_Suzuki@tokaitokyo.co.jp(鈴木) yuuko_nomura@tokaitokyo.co.jp(野村) takashi_ooshima@tokaitokyo.co.jp(大嶋)</p> <p>HPアドレス http://www.tokaitokyo.co.jp/</p>
野村證券株式会社	<p>野村グループは、お客様のニーズに合わせた商品・サービスの提供を通じて適切な資金循環を促し、経済成長と社会の持続的発展に貢献することが金融・サービス業の社会的役割であると考えています。グリーンボンド、ソーシャルボンドに代表されるESG債券においては、社会に貢献したいという投資家のニーズと、社会的課題の解決を目的としたプロジェクトにおける資金需要との橋渡しを、債券の引受・販売を通じて担っております。グリーンボンドの発行にあたっては、発行体のニーズを的確にくみ取り、起債にあたってのスキームの提案から、実務のサポート、アドバイズを行い、全国の金融機関をはじめとする機関投資家、また、全国の個人投資家をカバーする強力な販売力を活用することで、より社会に認知されるESG債券の発行をお手伝いさせていただきます。また、欧州、米州、アジアとグローバルに構築されたプラットフォームを活用し、海外におけるESG債発行においても最適なソリューションをご提供いたします。</p> <p>国内債券の引受部門として東京にデット・キャピタル・マーケット部、東京、大阪、名古屋に資本市場部を置き、債券の引受実務を担当しております。引受けた債券は、シンジケート部の管理のもとで債券発行のマーケティングを行い、全国の債券セールスが販売活動を行っています。グリーンボンドについてはデット・キャピタル・マーケット部に専任チームを配置し、発行のご支援を担当します。</p>	<p>野村総合研究所 2016年9月NRIグリーンボンド</p> <p>国際協力機構 2016年9月ソーシャルボンド「JICA債」 2017年6月ソーシャルボンド「JICA債」</p>	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S6.pdf	<p>野村グループは、事業を通じて気候変動問題の解決に貢献するとともに、自らの事業活動にともなう環境負荷低減に取り組んでいます。持続可能な開発目標(SDGs)やパリ協定などの国際動向を踏まえ、社会的課題の解決に向けてグローバルで連携し活動しています。金融サービスを通じて適切な資金循環を促し、経済成長と社会の持続的な発展に貢献するとともに、SDGsの達成に向けた取り組みを推進していきます。</p>	<p>部署名 デット・キャピタル・マーケット部</p> <p>電話番号 03-6838-4292(担当:相原・吉成)</p> <p>E-Mail: kazuyuki.aihara@nomura.com(相原) akihiko.yoshinari@nomura.com(吉成)</p> <p>HPアドレス http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/sustainable/products.html</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
パークレイズ証券株式会社	<p>1. グリーンボンド・ストラクチャリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストラクチャリングのアドバイス ・グリーンボンドフレームワーク策定のアドバイス ・債券格付けやセカンドパーティーオピニオンの取得サポート <p>2. 引受販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案件全体のスケジュール管理やドキュメンテーション等必要手続きの取りまとめ ・グリーンボンドフレームワークの周知及び案件に対する投資家需要喚起を目的としたロードショーのアレンジ ・市場動向の分析、マーケティング戦略の策定、各種メディア対応 ・プライシングのアドバイス、ブックビルディング、アロケーションのアドバイス <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社グループのグリーンファイナンス専門チームと連携し、グローバルなグリーンボンド市場動向について情報提供 ・起債した債券のセカンダリー取引を、マーケットメイクを通じてサポート ・債券分野では世界初のESG関連インデックスとなる「ブルームバーグ・パークレイズ・MSCIグリーンボンドインデックス」によるベンチマーク利回りの提供 ・グリーンファイナンスをテーマとした国際カンファレンスを主催 (例:2018年6月ロンドン開催のBarclays Green Frontiers Conference) ・弊社トレジャリー部門によるグリーンボンド購入プログラムを通じた、グリーンボンド市場発展への貢献 	<p>【Barclays PLCによるMREL適格シニア債】</p> <p>概要:2017年11月発行、ユーロ建て6年債(償還1年前コール条項付き)</p> <p>発行額:5億ユーロ</p> <p>特徴:英国の銀行による、英国資産を対象とした初のグリーンボンド</p> <p>弊社関与:事務主幹事及びストラクチャリング・アドバイザー</p> <p>【みずほフィナンシャルグループによるTLAC適格シニア債】</p> <p>概要:2017年10月発行、ユーロ建て7年債</p> <p>発行額:5億ユーロ</p> <p>特徴:発行体にとって初のユーロ建てシニア債かつ初のグリーンボンド</p> <p>弊社関与:共同主幹事</p> <p>【Toyota Motor Credit Corporationによるシニア債】</p> <p>概要:2017年11月発行、ユーロ建て3.7年債</p> <p>発行額:6億ユーロ</p> <p>特徴:発行体にとって初のユーロ建てグリーンボンド</p> <p>弊社関与:共同主幹事</p> <p>【リニューアブル・ジャパンによる太陽光発電プロジェクトボンド】</p> <p>概要:2017年8月発行、円建て定時償還型23年債</p> <p>発行額:46.7億円</p> <p>特徴:国内初のEPC業者クレジットに依拠しない開発型プロジェクトファイナンス格付</p> <p>弊社関与:単独主幹事</p> <p>【フランス共和国】</p> <p>概要:2017年1月発行、ユーロ建て22.4年債</p> <p>発行額:70億ユーロ</p> <p>特徴:単体案件のグリーンボンドとして、最大の起債発行額</p> <p>弊社関与:共同主幹事</p>	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S9.pdf	<p>パークレイズ証券株式会社はパークレイズ・バンク・ピーエルシーにおけるインベストメント・バンキング部門の証券業務拠点として、大手事業法人、政府、金融機関のお客様へ戦略的アドバイス、資金調達及びリスク管理に関するフルレンジのサービスを提供しています。持続可能な環境と低炭素社会への移行期において主導的役割を果たすことはパークレイズ・グループのコミットメントであり、その実現に向け積極的に貢献して参ります。</p>	<p>部署名 投資銀行部門債券資本市場部</p> <p>電話番号 03-4530-1980</p> <p>E-Mail: JapanESG@barclays.com</p> <p>HPアドレス https://www.barclays.co.jp/</p>
みずほ証券株式会社	<p>みずほ証券は、「グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント」としてグリーンボンドの発行ニーズのあるお客さまに対し、検討から起債、投資家への販売に至るまで全般的な支援を行っています。</p> <p>具体的には、グリーンボンドによる調達資金の用途選定や外部機関によるレビュー活用に関するアドバイス、投資家への説明等、グリーンボンドの発行が円滑に行われるようにマーケットリーダーとして高い専門性を生かしたサポート体制を構築しています。</p> <p>当社は、お客さまのさまざまなニーズへの幅広いサービス提供を通じて、グリーンボンド市場の発展による持続可能な社会の形成に貢献していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 ※平成29年度グリーンボンド発行モデル創出事業 第1号案件 ・日本リテールファンド投資法人(三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社) ※環境に配慮しグリーン適格資産への充当を企図した、J-REIT初のグリーンボンド ・BPCE S.A. ※民間金融機関サムライとして初となるソーシャルボンド(1号案件および2号案件)、ならびに後続のヘルスケアボンド(私募形式) ・株式会社みずほフィナンシャルグループ ※当グループ初のTLAC適格ユーロ建てシニアグリーンボンド 	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S4.pdf	<p>実績で選ぶなら、みずほ証券へ。環境省モデル事業第一号を手掛けたグリーンボンドをはじめとするESG債に関する専門的部隊、サステナブル・ファイナンス・デスクを抱え、多くの起債実績があります。</p> <p>検討から起債、投資家への販売まで、さまざまなお客さまの立場に立った幅広い実践的なサービスを提供します。</p>	<p><部署> プロダクツ本部 デットキャピタルマーケット</p> <p><Email> pur_in_sustainable@mizuho-sc.com</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
株式会社三井住友銀行	<p>業務①:情報提供 ・グリーンボンドに関する一般的な説明や情報提供を行います。</p> <p>業務②:グリーンボンド発行に向けた実務内容の説明 ・グリーンボンド発行に関心のあるお客さまに対し、実務内容をご説明します。</p> <p>業務③:私募債起債に向けた詳細確認・手続き説明～私募債発行 ・資金使途、金額、調達レート等、お客さまと契約内容の摺り合せを実施します。</p> <p>業務④:各種案件推進支援、コンサルティング機関、レビュー機関のご紹介 ・お客さまの要望に沿ったコンサルティング又は外部レビュー登録機関を紹介します。</p>	<p>実績①:グリーンボンドの発行 ＜発行体＞株式会社三井住友銀行 2015年に米ドル建てのグリーンボンドを発行。 ＜発行体＞株式会社三井住友フィナンシャルグループ 2017年にユーロ建てのグリーンボンドを発行。</p> <p>いずれも、発行代わり金は、再生可能エネルギー等の一定要件を満たす事業に対するファイナンスに充当。</p> <p>実績②:ソーシャルインパクトボンドの発行支援 ・2017年に神戸市が日本初となるソーシャルインパクトボンドを導入。 ・神戸市が委託した事業者が、糖尿病性腎症等の罹患者の重症化を予防するための事業を実施。 ・弊行は当該資金調達の組成及び資金提供を実施。</p> <p>実績③:「SMBC環境配慮評価私募債」の取扱い ・お客さま向けの資金調達商品として、2008年に取扱いを開始。 ・弊行と株式会社日本総合研究所が作成した評価基準に基づき、お客さまの環境配慮状況を評価し、お客さまの更なる環境配慮の取組を支援。</p>	http://greenbondplatform.env.go.jp/pdf/registration-list/S13.pdf	<p>株式会社三井住友銀行はSMBCグループの一員として、金融機能を活かし、経済面から地球環境保全へ貢献することを目指しています。取り組むべき課題として、「環境ビジネスの推進」「環境リスクへの対応」「環境負荷軽減への対応」の3つのテーマを設定しています。新興国における環境インフラ整備案件や、再生可能エネルギーに関するファイナンス等に関して、SMBCグループ各社が連携して業態に応じた支援を実施しています。</p>	<p>部署名 公共・金融法人部</p> <p>電話番号 03-4333-3324</p> <p>HPアドレス http://www.smbc.co.jp/</p>
株式会社三菱UFJ銀行	<p>業務①:情報提供 ・グリーンボンドに関する汎用的な知見、具体的な取組事項等、グリーンボンド発行に向けた情報提供を実施します。</p> <p>業務②:グリーンボンド発行に向けた実務内容の説明 ・グリーンボンド発行に関心のあるお客さまに対し、実務内容をご説明します。 ・お客さまが公募債を希望する場合は、グループ会社の三菱UFJモルガンスタンレー証券(以下、MUMSS)に連携し、MUMSSより実務説明を実施します。 ・お客さまが私募債を希望する場合は、弊行よりグリーンボンド私募債の実務面の具体的な手続きを説明します。</p> <p>業務③:私募債起債に向けた詳細確認・手続き説明～グリーンボンド(私募債)発行 ・資金使途、金額、調達レート等、お客さまと契約内容の摺り合せを実施します。</p> <p>業務④:各種案件推進支援、コンサルティング機関、レビュー機関のご紹介 ・環境省グリーンボンドガイドラインを踏まえたフレームワーク構築支援(資金使途、評価・選定プロセス、資金管理、レポート等)、環境専門知見並びにMUFGグループでのグリーンボンド発行実績等を活かした各種案件推進支援を実施します。 ・上記と共に、専門知見を活かして、取引先の要望に沿ったグリーンボンドに係る「コンサルティング」「外部レビュー付与」を支援する取引先、グループ会社(MURC)をご紹介します。</p>	<p>【三菱UFJフィナンシャル・グループとしてグリーンボンドを発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボンド原則に沿ってフレームワークを策定。 ・第三者認証機関による意見を取得。 ・発行代わり金は、三菱UFJ銀行を通じて、赤道原則を適用した適格グリーンプロジェクトへの融資に充当。 ・国際的な金融規制(TLAC規制)に対応したMUFGグリーンボンドを世界で初めて発行。 <p>実績①無担保シニア債 (2016年9月13日発行)</p> <p>実績②無担保シニア債 (2018年1月26日発行)</p> <p>【グリーンローン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電事業、水力発電事業等に対する融資案件 ・「環境リスク調査融資促進利子補給金交付事業(環境省)」を活用 ・当行取引先のアセスメント士を紹介し、当該プロジェクトの環境アセス実施を支援 	http://greenbondplatform.env.go.jp/pdf/registration-list/S2.pdf	<p>株式会社三菱UFJ銀行は、金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げ、その実現に向けて地球環境の保全等への取り組みを進めています。特に、太陽光・風力などの再生可能エネルギー事業に関連したファイナンスの分野では、世界最高水準のノウハウを有しています。</p>	<p>部署名 コーポレート情報営業部</p> <p>電話番号 03-6259-7289</p> <p>E-Mail: yuuichi_terasoma@mufg.jp</p> <p>HPアドレス http://www.bk.mufg.jp/</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	<p>グリーンボンド(公募債・私募債・外債)のストラクチャリング及び引受(海外拠点による引受を含む)・販売を実施いたします。</p> <p>発行体及び投資家に対するグリーンボンドに関する情報提供及びニーズヒアリングを実施し、ESGを踏まえた資金の調達をご検討する発行体とESG投資をご検討する投資家のニーズをマッチングさせるための、グリーンボンドのストラクチャリングを行います。</p> <p>当該ストラクチャリングにあたり当社は主に以下の3つの業務を行います。</p> <p>①社債の引受販売戦略の立案</p> <p>②グリーンボンドの対象となるプロジェクトの特性に即したフレームワークの構築</p> <p>③セカンドオピニオン提供者(外部レビュー機関)のご紹介及び当該業者との協議にあたり発行体に対する助言</p>	<p>発行体: フランス電力(Electricité de France)</p> <p>債券名称: フランス電力第1回円貨社債(2017)(グリーンボンド)</p> <p>フランス電力第2回円貨社債(2017)(グリーンボンド)</p> <p>発行時期: 2017年1月</p> <p>弊社関与: 事務主幹事</p> <p>発行体: 東京都</p> <p>債券名称: 東京都公募公債(東京グリーンボンド(5年))第1回</p> <p>東京都公募公債(東京グリーンボンド(30年))第1回</p> <p>発行時期: 2017年10月</p> <p>弊社関与: 事務主幹事</p> <p>発行体: 戸田建設株式会社</p> <p>債券名称: 戸田建設株式会社第3回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(別称: 戸田建設グリーンボンド)</p> <p>発行時期: 2017年12月</p> <p>弊社関与: 事務主幹事</p> <p>発行体: 三菱UFJリース株式会社</p> <p>債券名称: 三菱UFJリース株式会社第1回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)</p> <p>発行時期: 2018年4月</p> <p>弊社関与: 事務主幹事</p> <p>発行体: 日本郵船株式会社</p> <p>債券名称: 日本郵船株式会社第40回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(別称: 日本郵船グリーンボンド)</p> <p>発行時期: 2018年5月</p> <p>弊社関与: 事務主幹事</p>	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S5.pdf	<p>当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するため、グリーンボンド等の引受や発行サポートを積極的に行っており、国内外の発行体による数多くの案件に主幹事または販売会社として関与しています。</p> <p>今後もこれらの取り組みを通じて持続可能な環境、社会の実現に貢献していきます</p>	<p>部署名 デット・キャピタル・マーケット部</p> <p>電話番号 03-6738-1417 03-6738-1707</p> <p>E-Mail: IBD_DCM_ESG@mumss.com</p> <p>HPアドレス http://www.sc.mufg.jp/company/sustainability/business_underwriting.html</p>
メリルリンチ日本証券株式会社	<p>1.発行体のグリーンボンドフレームワーク策定に係る支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金使途、プロジェクトの評価・選定プロセス、調達資金管理、レポート等により構成されるグリーンボンドフレームワーク策定の支援 ・目論見書における資金使途開示案の作成支援 <p>2.セカンドパーティ・オピニオン等の取得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部レビュー機関によるセカンドパーティ・オピニオンの取得に係る支援 <p>3.グリーン投資家向けデットIRに係る支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン投資家向けIRプレゼンテーションに向けた事前準備の支援 ・投資家面談への同行 <p>4.グリーンボンド発行後の開示に係る支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行後のグリーンボンド充当状況開示に係る建設的なアドバイス・提案 ・グリーンプロジェクトに係る環境改善効果の開示指標の決定及び開示方法等に関する建設的なアドバイス・提案及び支援 <p>5.グリーンボンド市場に関する情報収集支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボンド市場の動向・進展に関する情報収集支援 	<p>案件1</p> <p>発行体: 東京都(グリーンボンド)</p> <p>発行額: 50億円</p> <p>年限: 30年</p> <p>発行日: 2017年10月</p> <p>支援の形態: 共同主幹事</p> <p>案件2</p> <p>発行体: みずほフィナンシャルグループ(グリーンボンド)</p> <p>発行額: 5億ユーロ</p> <p>年限: 7年</p> <p>発行日: 2017年10月</p> <p>支援の形態: 共同主幹事</p> <p>案件3</p> <p>発行体: 三井住友フィナンシャルグループ(グリーンボンド)</p> <p>発行額: 5億ユーロ</p> <p>年限: 7年</p> <p>発行日: 2017年10月</p> <p>支援の形態: 共同主幹事</p> <p>案件4</p> <p>発行体: 三井住友銀行(グリーンボンド)</p> <p>発行額: 5億米ドル</p> <p>年限: 5年</p> <p>発行日: 2015年10月</p> <p>支援の形態: 共同主幹事</p> <p>案件5</p> <p>発行体: 日本政策投資銀行(グリーンボンド)</p> <p>発行額: 2.5億ユーロ</p> <p>年限: 3年</p> <p>発行日: 2014年10月</p> <p>支援の形態: 共同主幹事</p>	http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S10.pdf	<p>メリルリンチ日本証券株式会社は、2014年以降、継続的に本邦発行体による外貨建て並びに円建てのグリーンボンドの発行支援を行って参りました。これからも、グローバルでのグリーンボンドについての専門的知見を活かしつつ、我が国のグリーンボンド市場の発展に取り組んで参ります。</p>	<p>部署名: 資本市場部門 債券市場部</p> <p>電話番号: 03-6225-6052</p> <p>E-Mail: yusuke.sutani@baml.com</p> <p>HPアドレス: http://www.japan.ml.com/main_j.asp</p>

社名	(発行支援)業務概要	(発行支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	連絡先
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	<p>弊社のグリーンボンド引受業務及び組成支援の概要は以下の通りです。まず、グリーンボンドの発行を計画する発行体に対して、その時々市場環境を勘案しながら、発行体にとって適切な年限や通貨、発行フォーマットに加え、グリーンボンド・フレームワークを提案し、資金使途の選定のみならず発行後のレポートニングに向けた発行体内の体制整備等も含めて、ストラクチャリング・エージェントとしてフレームワークの策定及び更新作業を主導致します。フレームワークの策定及び更新作業に付随して、外部機関からの認証を取得する場合には、認証取得に向けた当該機関との交渉も支援致します。また、発行に際して必要となる目論見書や契約書等の準備も法律事務所と協働しながら進めます。マーケティングに関しては、グリーン投資家を中心とした幅広い投資家からの関心を喚起するために、当該発行体のクレジットのみならず、グリーンボンド・フレームワークについても投資家の理解が深化するよう、グリーンボンド・プレゼンテーション資料の作成支援や投資家面談設定を行います。ブックビルディングの段階においては、投資家による購入が促されるように、他のグリーンボンド案件やセカンダリー市場の状況、投資家からのフィードバック等を基に合理的なブライズ・ガイダンスを設定することで投資家需要を積み上げ、適切な水準で条件決定するよう起債運営を行います。</p>	<p>1. 条件決定日:2018年1月19日 発行体:三菱UFJフィナンシャル・グループ フォーマット:レギュレーションS タイプ:グリーンボンド 発行額:5億ユーロ</p> <p>2. 条件決定日:2016年10月12日 発行体:日本政策投資銀行 フォーマット:レギュレーションS タイプ:サステナビリティボンド 発行額:5億ドル</p> <p>3. 条件決定日:2016年9月6日 発行体:三菱UFJフィナンシャル・グループ フォーマット:SEC登録 タイプ:グリーンボンド 発行額:5億ドル</p> <p>4. 条件決定日:2015年10月14日 発行体:日本政策投資銀行 フォーマット:レギュレーションS タイプ:サステナビリティボンド 発行額:3億ユーロ</p> <p>5. 条件決定日:2014年9月30日 発行体:日本政策投資銀行 フォーマット:レギュレーションS タイプ:グリーンボンド 発行額:2.5億ユーロ</p>	<p>http://greenbondportalform.env.go.jp/pdf/registration-list/S7.pdf</p>	<p>モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社は、外貨建てグリーンボンドの引受及び組成のご支援を通じ、本邦企業によるグリーンボンド発行の裾野拡大に寄与して参りました。これからもグローバルなプラットフォームを活かして我が国のグリーンボンド市場の拡大及び投資家への認知拡大に向けて積極的に取り組む所存でございます。</p>	<p>部署名 資本市場統括本部</p> <p>電話番号 03-6836-5050</p> <p>E-Mail: greenbond@morganstanley.com</p> <p>HPアドレス http://www.morganstanley.co.jp/ja</p>